

電気通信大学大学院情報システム学研究科履修規程

平成20年 4月 1日

改正

平成22年 4月 1日

平成24年 5月22日

平成25年 3月22日

平成26年 3月28日

平成27年 3月27日

平成28年 3月23日

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人電気通信大学学則（以下「学則」という。）第60条第3項の規定に基づき電気通信大学大学院情報システム学研究科（以下「研究科」という。）の教育課程及び履修方法について定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

第2条 学則第59条第1項の規定に基づく研究科各専攻課程の授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。

(履修単位数)

第3条 学生は、前条により定められた授業科目のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しなければならない。

- (1) 博士課程における前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）にあつては、必修科目12単位以上を含め、研究科内授業科目22単位以上、合計30単位以上
- (2) 博士課程における後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）にあつては、必修科目12単位を含め、合計16単位以上

2 学生は、指導教員が必要と認めるときは、本研究科の他専攻の科目を選択科目として履修することができる。

(指導教員)

第4条 研究科教授会は、授業科目の履修の指導及び研究の指導を行うために、各学生ごとに指導教員を定める。

2 指導教員は、複数とする。

(履修科目届)

第5条 学生は、指導教員の指導のもとに、特定の研究分野を定め、当該研究に必要な授業科目を履修するものとする。

2 学生は、前項により履修しようとする授業科目を指導教員の許可を得た上、学期の始めに所定の様式により届け出なければならない。

(博士前期課程で修得した履修単位)

第6条 学生が本研究科博士前期課程において、第3条第1項第1号に定める単位数を超えて修得した単位があるときは、選択科目の修得単位に限り、4単位を限度に、博士後

期課程の選択科目の単位として、第3条第1項第2号の単位数に充当することができる。

(履修単位の特例)

第7条 学生は、指導教員が特に必要と認めるときは、当該授業科目担当教員の承認を得て、大学院電気通信学研究科及び大学院情報理工学研究科の授業科目を合計4単位を限度として履修し、修得した単位を本研究科の選択科目の単位として、第3条第1項の単位数に充当することができる。

(他の大学院で修得した履修単位)

第8条 学則第19条及び第60条第1項の規定により他の大学院（外国の大学院を含む。）で授業科目を履修し、修得した単位は、10単位を限度として選択科目の単位として第3条第1項の単位数に充当することができる。

2 前項の規定による単位の認定、成績評価の取扱い及びその他必要事項は、研究科教授会において定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第9条 学則第60条第2項の規定により、学生が本研究科に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位は、入学した後の本研究科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができるものとし、次の各号のとおり第3条第1項の単位数に充当することができる。

(1) 博士前期課程にあっては、選択科目の単位として合計10単位を限度とする。

(2) 博士後期課程にあっては、選択科目の単位として合計4単位を限度とする。

(3) 前2号の単位は通算10単位を超えないものとする。

(他大学院等における研究指導)

第10条 学則第65条の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本研究科において受けた研究指導とみなす。

(試験)

第11条 履修科目の試験は、学期末又は学年末に筆記試験又は研究報告により行う。

(追試験、再試験)

第12条 研究科教授会において特に必要と認めるときは、追試験を行うことができる。

2 再試験は、行わない。

(学位論文)

第13条 修士論文を提出しようとする学生は、博士前期課程に1年以上在学し、16単位以上を修得していなければならない。ただし、学則第68条の2ただし書の規定を適用させようとする場合の取扱いについては、研究科教授会が別に定める。

2 博士論文を提出しようとする学生は、博士後期課程に2年以上在学の上、10単位以上を修得し、更に、各年次修了時ごとの学力確認試験に合格していなければならない。ただし、学則第69条第1項ただし書の規定を適用させようとする場合の取扱いについては、研究科教授会が別に定める。

(最終試験等)

第14条 学位論文の審査及び最終試験については、電気通信大学学位規程の定めるところによる。

(雑則)

第15条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、研究科教授会が定める。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年5月22日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

(別表)

情報メディアシステム学専攻

科目 区分	授 業 科 目 名	単 位 数	課 程		開 講 学 期	
			前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
専 門 科 目	1 人間情報論 1	2	○	○	○	
	2 人間情報論 2	2	○	○	○	
	3 情報メディア論 1	2	○	○	○	
	4 情報メディア論 2	2	○	○		○
	5 対話型システム論 1	2	○	○		○
	6 対話型システム論 2	2	○	○	○	
	7 知能システム論 1	2	○	○	○	
	8 知能システム論 2	2	○	○		○
	9 生体情報システム論 1	2	○	○	○	
	10 生体情報システム論 2	2	○	○	○	
	11 制御システム論 1	2	○	○		○
	12 制御システム論 2	2	○	○	○	
応 用 科 目	13 人間情報学特論 1	2	○	○		○
	14 人間情報学特論 2	2	○	○		○
	15 対話型システム学特論 1	2	○	○		○
	16 対話型システム学特論 2	2	○	○		○
	17 知能システム学特論 1	2	○	○		○
	18 知能システム学特論 2	2	○	○		○
特 別 科 目	19 情報システム学特別講義 1	2	○	○		○
	20 大学院インターンシップ 1	2	○			
	21 大学院インターンシップ 2	2		○		
	22 大学院インターンシップ 1 (長期)	4	○			
	23 大学院インターンシップ 2 (長期)	4		○		
	24 大学院インターンシップ 1 (海外)	2	○			
	25 大学院インターンシップ 2 (海外)	2		○		
	26 大学院インターンシップ 1 (海外長期)	4	○			
	27 大学院インターンシップ 2 (海外長期)	4		○		
	28 情報システム学基礎 1	2	○	○		○
	29 情報システム学基礎 2	2	○			○

科目 区分	授 業 科 目 名	単 位 数	課 程		開 講 学 期	
			前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
基 礎 科 目	30 情報メディアシステム学基礎 1	2	○		○	
	31 情報メディアシステム学基礎 2	2	○		○	
	32 社会知能情報学基礎 1	2	○		○	
	33 社会知能情報学基礎 2	2	○		○	
	34 情報ネットワーク学基礎 1	2	○		○	
	35 情報ネットワーク学基礎 2	2	○			○
	36 情報システム基盤学基礎 1	2	○		○	
	37 情報システム基盤学基礎 2	2	○		○	
必 修 科 目	38 情報メディアシステム学合同輪講	2	◎		◎	◎
	39 情報メディアシステム学輪講	2	◎		◎	◎
	40 情報メディアシステム学演習	4	◎		◎	◎
	41 情報メディアシステム学実験	4	◎		◎	◎
	42 情報メディアシステム学特別輪講	2		◎	◎	◎
	43 情報メディアシステム学特別演習	4		◎	◎	◎
	44 情報メディアシステム学特別実験	6		◎	◎	◎

- * 1 開講学期欄の◎は必修科目を示す。○は今年度の開講学期を示す。
開講学期及び休講とする科目は年度によって異なるので、各年度に配付される授業時間割で確認のこと。
- * 2 基礎科目の履修は、原則として博士前期課程1年次生に限る。修了要件とする場合、3科目以内とする。
- * 3 特別科目を修了要件単位とする場合、3科目6単位以内とする。
- * 4 特別科目「大学院インターンシップ」科目は、博士前期課程、博士後期課程において、それぞれ1科目しか履修できない。
- * 5 合同輪講は、60時間の学修に対して2単位を与える（原則として1年次前学期及び後学期の通年の2学期学修する）。
- * 6 演習、特別演習、特別実験の学修時間と単位数は下記のとおりとなる。
演習（博士前期課程）、特別演習（博士後期課程）は120時間の学修に対して4単位を与える。実験（博士前期課程）は180時間の学修に対して4単位を与える。特別実験（博士後期課程）は270時間の学修に対して6単位を与える。

社会知能情報学専攻

科目 区分	授 業 科 目 名		単 位 数	課 程		開 講 学 期	
				前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
専 門 科 目	1	システム設計基礎論 1	2	○	○		○
	2	システム設計基礎論 2	2	○	○	○	
	3	知識創産システム論 1	2	○	○	○	
	4	知識創産システム論 2	2	○	○		○
	5	社会情報システム論 1	2	○	○	○	
	6	社会情報システム論 2	2	○	○		○
	7	経営情報システム論 1	2	○	○	○	
	8	経営情報システム論 2	2	○	○		○
	9	政策情報論 1	2	○	○	○	
	10	政策情報論 2	2	○	○		○
	11	情報システム管理論 1	2	○	○	○	
	12	情報システム管理論 2	2	○	○		○
応 用 科 目	13	システム設計基礎学特論 1	2	○	○		○
	14	システム設計基礎学特論 2	2	○	○		○
	15	知識創産システム学特論 1	2	○	○		○
	16	知識創産システム学特論 2	2	○	○		○
	17	社会情報システム学特論 1	2	○	○		○
	18	社会情報システム学特論 2	2	○	○		○
	19	経営情報システム学特論 1	2	○	○		○
	20	経営情報システム学特論 2	2	○	○		○
特 別 科 目	21	情報システム学特別講義 2	2	○	○		○
	22	大学院インターンシップ 1	2	○			
	23	大学院インターンシップ 2	2		○		
	24	大学院インターンシップ 1 (長期)	4	○			
	25	大学院インターンシップ 2 (長期)	4		○		
	26	大学院インターンシップ 1 (海外)	2	○			
	27	大学院インターンシップ 2 (海外)	2		○		
	28	大学院インターンシップ 1 (海外長期)	4	○			
	29	大学院インターンシップ 2 (海外長期)	4		○		
	30	情報システム学基礎 1	2	○	○		○
	31	情報システム学基礎 2	2	○			○

科目 区分	授 業 科 目 名		単 位 数	課 程		開 講 学 期	
				前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
基 礎 科 目	32	情報メディアシステム学基礎 1	2	○		○	
	33	情報メディアシステム学基礎 2	2	○		○	
	34	社会知能情報学基礎 1	2	○		○	
	35	社会知能情報学基礎 2	2	○		○	
	36	情報ネットワーク学基礎 1	2	○		○	
	37	情報ネットワーク学基礎 2	2	○			○
	38	情報システム基盤学基礎 1	2	○		○	
	39	情報システム基盤学基礎 2	2	○		○	
必 修 科 目	40	社会知能情報学合同輪講	2	◎		◎	◎
	41	社会知能情報学輪講	2	◎		◎	◎
	42	社会知能情報学演習	4	◎		◎	◎
	43	社会知能情報学実験	4	◎		◎	◎
	44	社会知能情報学特別輪講	2		◎	◎	◎
	45	社会知能情報学特別演習	4		◎	◎	◎
	46	社会知能情報学特別実験	6		◎	◎	◎

- * 1 開講学期欄の◎は必修科目を示す。○は今年度の開講学期を示す。
開講学期及び休講とする科目は年度によって異なるので、各年度に配付される授業時間割で確認のこと。
- * 2 基礎科目の履修は、原則として博士前期課程1年次生に限る。修了要件とする場合、3科目以内とする。
- * 3 特別科目を修了要件単位とする場合、3科目6単位以内とする。
- * 4 特別科目「大学院インターンシップ」科目は、博士前期課程、博士後期課程において、それぞれ1科目しか履修できない。
- * 5 合同輪講は、60時間の学修に対して2単位を与える（原則として1年次前学期及び後学期の通年の2学期学修する）。
- * 6 演習、特別演習、特別実験の学修時間と単位数は下記のとおりとなる。
演習（博士前期課程）、特別演習（博士後期課程）は120時間の学修に対して4単位を与える。実験（博士前期課程）は180時間の学修に対して4単位を与える。特別実験（博士後期課程）は270時間の学修に対して6単位を与える。

情報ネットワークシステム学専攻

科目 区分	授 業 科 目 名		単 位 数	課 程		開 講 学 期	
				前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
専 門 科 目	1	ネットワーク基礎論 1	2	○	○		○
	2	ネットワーク基礎論 2	2	○	○	○	
	3	ネットワークアーキテクチャ論 1	2	○	○	○	
	4	ネットワークアーキテクチャ論 2	2	○	○		○
	5	ネットワークコンピューティング論 1	2	○	○	○	
	6	ネットワークコンピューティング論 2	2	○	○		○
	7	応用ネットワーク論 1	2	○	○	○	
	8	応用ネットワーク論 2	2	○	○		○
	9	ネットワークセキュリティ論 1	2	○	○		○
	10	ネットワークセキュリティ論 2	2	○	○		○
応 用 科 目	11	ネットワークアーキテクチャ学特論 1	2	○	○	○	
	12	ネットワークアーキテクチャ学特論 2	2	○	○		○
	13	ネットワークコンピューティング学特論 1	2	○	○	○	
	14	ネットワークコンピューティング学特論 2	2	○	○	○	
	15	応用ネットワーク学特論 1	2	○	○	○	
	16	応用ネットワーク学特論 2	2	○	○	○	
特 別 科 目	17	情報システム学特別講義 3	2	○	○		○
	18	大学院インターンシップ 1	2	○			
	19	大学院インターンシップ 2	2		○		
	20	大学院インターンシップ 1 (長期)	4	○			
	21	大学院インターンシップ 2 (長期)	4		○		
	22	大学院インターンシップ 1 (海外)	2	○			
	23	大学院インターンシップ 2 (海外)	2		○		
	24	大学院インターンシップ 1 (海外長期)	4	○			
	25	大学院インターンシップ 2 (海外長期)	4		○		
	26	情報システム学基礎 1	2	○	○		○
	27	情報システム学基礎 2	2	○			○

科目 区分	授 業 科 目 名		単 位 数	課 程		開 講 学 期	
				前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
基 礎 科 目	28	情報メディアシステム学基礎 1	2	○		○	
	29	情報メディアシステム学基礎 2	2	○		○	
	30	社会知能情報学基礎 1	2	○		○	
	31	社会知能情報学基礎 2	2	○		○	
	32	情報ネットワーク学基礎 1	2	○		○	
	33	情報ネットワーク学基礎 2	2	○			○
	34	情報システム基盤学基礎 1	2	○		○	
	35	情報システム基盤学基礎 2	2	○		○	
必 修 科 目	36	情報ネットワークシステム学合同輪講	2	◎		◎	◎
	37	情報ネットワークシステム学輪講	2	◎		◎	◎
	38	情報ネットワークシステム学演習	4	◎		◎	◎
	39	情報ネットワークシステム学実験	4	◎		◎	◎
	40	情報ネットワークシステム学特別輪講	2		◎	◎	◎
	41	情報ネットワークシステム学特別演習	4		◎	◎	◎
	42	情報ネットワークシステム学特別実験	6		◎	◎	◎

- * 1 開講学期欄の◎は必修科目を示す。○は今年度の開講学期を示す。
開講学期及び休講とする科目は年度によって異なるので、各年度に配付される授業時間割で確認のこと。
- * 2 基礎科目の履修は、原則として博士前期課程1年次生に限る。修了要件とする場合、3科目以内とする。
- * 3 特別科目を修了要件単位とする場合、3科目6単位以内とする。
- * 4 特別科目「大学院インターンシップ」科目は、博士前期課程、博士後期課程において、それぞれ1科目しか履修できない。
- * 5 合同輪講は、60時間の学修に対して2単位を与える（原則として1年次前学期及び後学期の通年の2学期学修する）。
- * 6 演習、特別演習、特別実験の学修時間と単位数は下記のとおりとなる。
演習（博士前期課程）、特別演習（博士後期課程）は120時間の学修に対して4単位を与える。実験（博士前期課程）は180時間の学修に対して4単位を与える。特別実験（博士後期課程）は270時間の学修に対して6単位を与える。

情報システム基盤学専攻

科目 区分	授 業 科 目 名	単 位 数	課 程		開 講 学 期	
			前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
専 門 科 目	1 情報システム基礎論 1	2	○	○		○
	2 情報システム基礎論 2	2	○	○	○	
	3 基盤ソフトウェア論 1	2	○	○	○	
	4 基盤ソフトウェア論 2	2	○	○		○
	5 データベース論 1	2	○	○	○	
	6 データベース論 2	2	○	○	○	
	7 高性能コンピューティング論 1	2	○	○	○	
	8 高性能コンピューティング論 2	2	○	○		○
	9 基盤ハードウェア論1	2	○	○		○
	10 基盤ハードウェア論2	2	○	○		○
応 用 科 目	11 情報システム基礎学特論 1	2	○	○	○	
	12 情報システム基礎学特論 2	2	○	○	○	
	13 基盤ソフトウェア学特論 1	2	○	○		○
	14 基盤ソフトウェア学特論 2	2	○	○	○	
	15 高性能コンピューティング学特論 1	2	○	○		○
	16 高性能コンピューティング学特論 2	2	○	○	○	
特 別 科 目	17 情報システム学特別講義 4	2	○	○		○
	18 大学院インターンシップ 1	2	○			
	19 大学院インターンシップ 2	2		○		
	20 大学院インターンシップ 1 (長期)	4	○			
	21 大学院インターンシップ 2 (長期)	4		○		
	22 大学院インターンシップ 1 (海外)	2	○			
	23 大学院インターンシップ 2 (海外)	2		○		
	24 大学院インターンシップ 1 (海外長期)	4	○			
	25 大学院インターンシップ 2 (海外長期)	4		○		
	26 情報システム学基礎 1	2	○	○		○
	27 情報システム学基礎 2	2	○			○

科目 区分	授 業 科 目 名		単 位 数	課 程		開 講 学 期	
				前 期 (M)	後 期 (D)	前 学 期	後 学 期
基 礎 科 目	28	情報メディアシステム学基礎 1	2	○		○	
	29	情報メディアシステム学基礎 2	2	○		○	
	30	社会知能情報学基礎 1	2	○		○	
	31	社会知能情報学基礎 2	2	○		○	
	32	情報ネットワーク学基礎 1	2	○		○	
	33	情報ネットワーク学基礎 2	2	○			○
	34	情報システム基盤学基礎 1	2	○		○	
	35	情報システム基盤学基礎 2	2	○		○	
必 修 科 目	36	情報システム基盤学合同輪講	2	◎		◎	◎
	37	情報システム基盤学輪講	2	◎		◎	◎
	38	情報システム基盤学演習	4	◎		◎	◎
	39	情報システム基盤学実験	4	◎		◎	◎
	40	情報システム基盤学特別輪講	2		◎	◎	◎
	41	情報システム基盤学特別演習	4		◎	◎	◎
	42	情報システム基盤学特別実験	6		◎	◎	◎

- * 1 開講学期欄の◎は必修科目を示す。○は今年度の開講学期を示す。
開講学期及び休講とする科目は年度によって異なるので、各年度に配付される授業時間割で確認のこと。
- * 2 基礎科目の履修は、原則として博士前期課程1年次生に限る。修了要件とする場合、3科目以内とする。
- * 3 特別科目を修了要件単位とする場合、3科目6単位以内とする。
- * 4 特別科目「大学院インターンシップ」科目は、博士前期課程、博士後期課程において、それぞれ1科目しか履修できない。
- * 5 合同輪講は、60時間の学修に対して2単位を与える（原則として1年次前学期及び後学期の通年の2学期学修する）。
- * 6 演習、特別演習、特別実験の学修時間と単位数は下記のとおりとなる。
演習（博士前期課程）、特別演習（博士後期課程）は120時間の学修に対して4単位を与える。実験（博士前期課程）は180時間の学修に対して4単位を与える。特別実験（博士後期課程）は270時間の学修に対して6単位を与える。